

□ 国際スポーツイベントの交通計画

国際スポーツイベントの中でも、オリンピックとサッカーワールドカップは、世界2大スポーツイベントと言われており、その規模が他のスポーツイベントに比較して格段に大きく、招致段階から綿密な開催計画が必要となります。その開催計画の重要な柱のひとつが交通計画です。

オリンピック関連交通計画（我が国トップの実績）

我が国におけるオリンピック開催は、東京（1964年）、札幌（1972年）、長野（1998年）の3度ですが、東京と札幌オリンピックは30年以上も前のことであり、近年において開催されたのは長野オリンピックのみです。

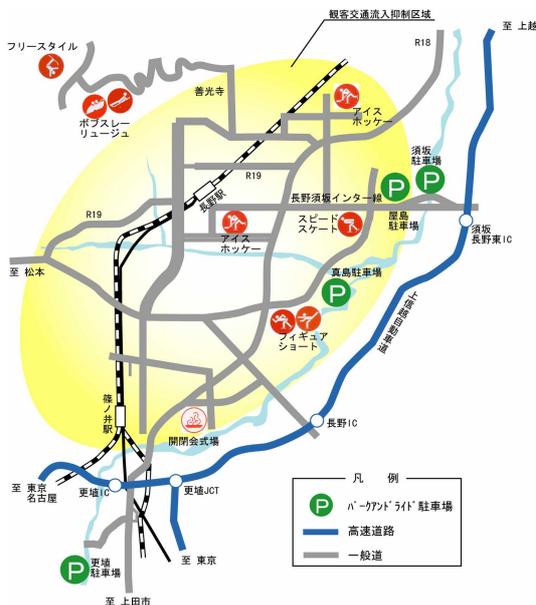
弊社は、**長野オリンピック交通計画**を招致活動段階から約10年間にわたり実施しました。また、2008年のオリンピックについては、国内候補地選考に向けての**横浜市オリンピック輸送計画**策定を行いました。残念ながら、大阪市に敗れてしまいましたが、その後、競争都市であった大阪市より、弊社の業務実績を評価頂き、**大阪オリンピックITS導入計画**を立案しました。

サッカーワールドカップ決勝戦（我が国唯一の実績）

2002年FIFAワールドカップ日韓共催では、国内10会場で試合が行われました。弊社は、横浜市（横浜国際競技場）開催について、招致段階から実施段階までの交通計画を策定しました。横浜市は決勝戦会場となりましたが、他の試合と異なり、規模が大きいきりばかりでなく、多くのVIPが観戦に訪れることとなり、交通需給の検討だけでなく、セキュリティ面からの対策が求められました。

1 長野オリンピック交通計画

オリンピック交通計画の特徴は、招致段階、実施計画段階、実施中の管理・事前事後調査と非常に期間が長いこと、同一地域の複数の競技場で試合が同時に実施されるため面的交通計画が必要なこと、関係機関が共通認識を常に有すること、招致段階では他都市よりも優位な面が必要なことです。弊社では、平成元年度から平成10年度まで交通計画策定（交通需要予測、交通規制計画、P&B R等）に取り組み、プレオリンピックでの検証、さらに、大会開催期間中においては、天候により日程や会場が変更となることから、毎日、翌日以降の最新の交通状況予測を行いました。

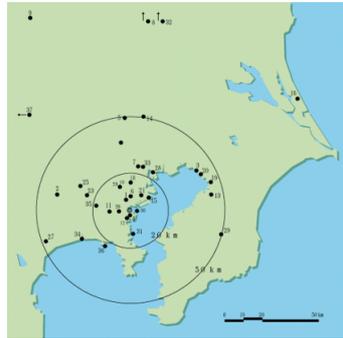


長野オリンピック関連業務の受注年表

年度	業務名称（略称）	発注者
1989	冬季オリンピック競技大会輸送基本計画	長野市
1991	冬季オリンピック競技大会輸送計画	長野県
1992	冬季競技大会受入対策基本調査	長野市
1994	冬季オリンピック競技大会輸送計画	組織委員会
1995	オリンピック関係資料作成	長野国道
1996	オリンピック関係資料作成	長野国道
1996	オリンピック関連交通運用検討	日本道路公団
1996	オリンピック関連渋滞対策検討	日本道路公団
1996	長野地域交通量推計	長野県
1997	オリンピック関連交通実態調査	日本道路公団
1997	オリンピック交通渋滞対策	長野県
1997	オリンピック関連道路網整備効果検討	長野国道
1998	オリンピック道路整備効果検討	長野国道

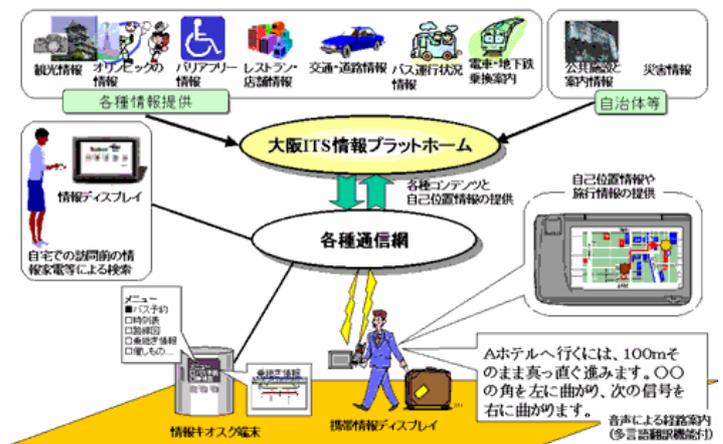
2 横浜オリンピック招致関連業務の紹介

横浜オリンピックの交通計画を受託し検討しました。既存施設、既存交通インフラを活用する広域開催をコンセプトに、選手・役員・大会関係者及び観客の輸送計画を検討しました。



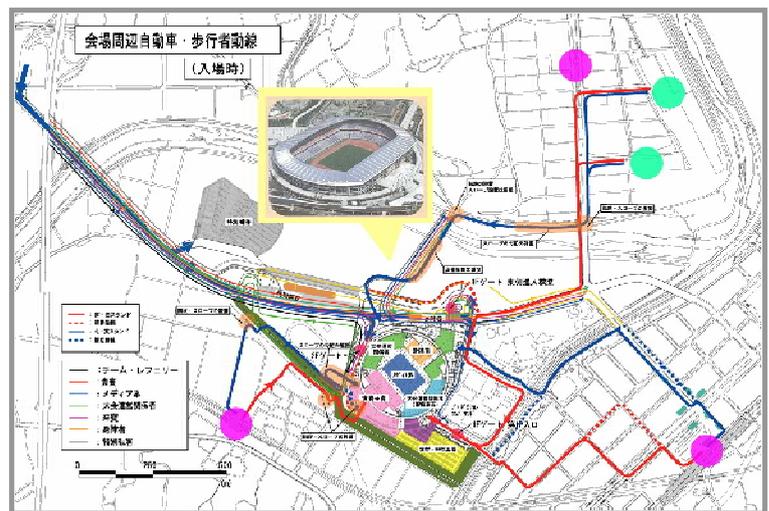
3 大阪オリンピック招致関連業務の紹介

財団法人大阪市都市工学情報センターの委託を受け、大阪市における長期的なITS整備の構想と、2008大阪オリンピックにおけるITS導入計画を策定しました。なお、検討に際し、大阪オリンピックITS研究準備会、大阪ITS構想推進研究会が設立されました。



4 2002 サッカーワールドカップ“横浜”交通計画

横浜国際総合競技場は、大会期間中のピーク日で20万人の来客が見込まれ、会場周辺の道路、公共交通機関において大混雑が予測されました。この横浜会場において、選手・役員・観客の円滑な輸送とセキュリティ対策を両立させるように、P&R（シャトルバス・鉄道）方式を中心とした交通輸送計画（各種車両誘導計画、歩行者誘導計画、交通規制計画、駐車場計画、場内動線計画）を策定しました。



5 その他のイベント等の交通計画実績

- ・横浜博覧会交通対策 / 全国都市緑化かながわフェア交通対策 / 世界イベント村交通計画
- ・中央自動車道集中工事交通対策 / 箱崎改良工事に伴う交通影響検討
- ・青梅総合公園交通計画 / 春野総合運動公園基本計画



セントラルコンサルタント株式会社

<http://www.central-con.co.jp>

お問い合わせ先：東京事業本部 環境交通部 交通グループ